

## 小学 5・6 年生向け学習教材 「世界といのちの教室 学校授業用デジタル教材」を提供開始

国境なき医師団 (MSF) 日本は小学 5・6 年生を対象にした学習教材「世界といのちの教室 学校授業用デジタル教材」を開発し、本日より提供を開始します。本教材は実話を基に構成され、将来を担う若い世代が、いま世界各地で起きている人道危機を知り、自分ごととして考えを深めること、また、国境を越えて人道援助を届ける意義を理解することを目的としています。45 分以上の授業 1 回での利用を想定しており、利用希望する教員に無料で提供します。



デジタル教材イメージ © MSF

MSF 日本はこれまでも若い世代へ人道援助の理解・支持を広げるための取り組みを行ってきました。日本全国の学校などで、MSF の海外派遣スタッフが活動地での状況や体験を話す講演を行っているほか、2020 年の 10 月には小学 5・6 年生を対象に、海外派遣スタッフが講師を務めるワークショップを取り入れた教育プログラム「世界といのちの教室」を開始しました。

今回、文部科学省が推進する GIGA スクール構想に伴い、全国の学校に通信ネットワークが整備され、小中学生 1 人に 1 台の端末が配布されることに着目。教育現場における ICT 環境の整備が進んでいることから、道徳科や社会科、総合的な学習の時間に教員が活用できる「世界といのちの教室 デジタル教材」を開発することで、学校カリキュラムに取り入れやすく、1 人でも多くの子どもたちに人道援助や国際貢献の学びの機会を提供できると考えています。

デジタル教材の開発過程では、現役教員や教育関係者への聞き取りや小学校で模擬授業を行うなどして教育現場の意見も取り入れました。デジタル教材とともに指導案を配布することで教員の準備の負担を軽減し、また、GIGA スクール構想関連の課題としてあげられている「教員の ICT 活用指導力」

(※) に対処すべく、指導案に沿うことで誰でも簡単に授業を進めることができるよう検討を重ねました。

8月7日(日)には夏休み企画として、オンライン参加できる模擬授業を開催します。詳細は次頁をご参照ください。

※『GIGA スクール構想に関する各種調査の結果』文部科学省 2021年8月

## 概要

---

**名称：**「世界といのちの教室 学校授業用デジタル教材」

**対象学年：**小学5・6年生推奨（他の学年でも利用は可能）

**対象科目：**道徳科のほか、社会科や総合的な学習の時間などの発展的な学習教材としても利用可能。小学5・6年生の学習指導要領における関連項目は以下のとおり

<道徳>

「思いやり、感謝」「公正、公平、社会正義」「国際理解、国際貢献」「生命の尊さ」

<社会>

グローバル化する世界と日本の役割の「我が国の国際協力の様子」。医療分野の貢献の事例として

**所要時間：**45分以上の授業1回を想定

**提供物：**教材（Google スライド）、指導案

**提供方法：**お申込みいただいた教員に個別配布

**利用料金：**無料

**申し込み方法：**特設ページ（<https://www.msf.or.jp/study/material/>）よりご確認ください

**開発：**特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

## 学習のポイント

---

### 1：世界で起きている命の危機を知り、人びとを思いやる想像力をはぐくむ

世界中で起きている、人道危機。紛争や災害、貧困などによって過酷な状況に生きる人びとを思い、その状況や心情を想像する力をはぐくみます。

### 2：国境を越え、希望を生む人道援助の意義を理解する

国境なき医師団の医師の活動を通じて、人種や国籍、宗教に関わらず苦境にある人びとを援助する意義の理解を促します。

### 3：GIGA スクール構想に対応

授業1回（45分以上想定）完結型のクラウド活用（Google スライド）の学習教材です。授業ではデジタル教材を児童に配布し、各自の端末で操作・編集します。

※1台の端末をクラスで共有・投影して実施することも可能です。



## 「世界といのちの教室」学校・家庭向けオンライン教室について

「世界といのちの教室」は、MSF 日本が 2020 年 10 月に、小学 5・6 年生を対象に開始した教育プログラムです。オンライン教室として実施し、2022 年 6 月までで、MSF 日本が主催する家庭向けの教室を 16 回開催し 400 人が参加、2021 年 3 月に開始した学校向けの教室は 12 校で開催し 1192 人が参加しています。

プログラムは 90 分で構成され、前半は MSF が活動する世界の人道危機の状況と、さまざまな職種のスタッフがどのような想いで人道援助を仕事にしているのか、動画やクイズを用いながら学んでいきます。後半では、救う命に優先順位をつけなければならない事態を想定するなど、参加児童に MSF が独立・中立・公平の人道援助の原則を維持する中で直面するジレンマを疑似体験してもらい、自ら考え、議論するワークショップを行います。プログラム終盤では、児童一人一人ができることも考えます。

「世界といのちの教室」案内ページ <https://www.msf.or.jp/study/school/>

## 国境なき医師団について

民間で非営利の医療・人道援助団体。紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助活動を届けている。現在、世界約 90 の国と地域で、医師や看護師をはじめ 4 万 5000 人のスタッフが活動（2020 年実績）。1971 年にフランスで設立、1999 年にはノーベル平和賞を受賞。1992 年に日本事務局が発足し、日本国内では、援助活動に参加する人材の採用・派遣、人道危機や医療ニーズを伝える証言・広報活動、現地医療活動を支える資金調達などを行っている。2021 年には 90 人を 31 の国と地域に延べ 106 回派遣。活動地へ赴くスタッフは通年採用している。

### 本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：山田瑞穂、都築彩

携帯：080-2277-6819

E-mail: [press@tokyo.msf.org](mailto:press@tokyo.msf.org) <https://www.msf.or.jp>



メディア向けツイッターアカウント：@MSFJ\_Press